



613-003415 Rev.A 250828

IEEE 802.11a/b/g/n/ac/ax/be対応無線LANアクセスポイント

AT-TQ7613

ユーザーマニュアル

AT-TQ7613

ユーザーマニュアル

本製品のご使用にあたって

本製品は、医療・原子力・航空・海運・軍事・宇宙産業など人命に関わる場合や高度な安全性・信頼性を必要とするシステムや機器としての使用またはこれらに組みこんでの使用を意図した設計および製造はされていません。

したがって、これらのシステムや機器としての使用またはこれらに組み込んで本製品が使用されることによって、お客様もしくは第三者に損害が生じても、かかる損害が直接的または間接的または付随的なものであるかどうかにかかわらず、弊社は一切の責任を負いません。

お客様の責任において、このようなシステムや機器としての使用またはこれらに組み込んで使用する場合には、使用環境・条件等に充分配慮し、システムの冗長化などによる故障対策や、誤動作防止対策・火災延焼対策などの安全性・信頼性の向上対策を施すなど万全を期されるようご注意願います。

安全のために

必ずお守りください



警告

下記の注意事項を守らないと火災・感電により、死亡や大けがの原因となります。

分解や改造をしない

本製品は、取扱説明書に記載のない分解や改造はしないでください。火災や感電、けがの原因となります。



分解禁止

雷のときはケーブル類・機器類にさわらない

感電の原因となります。



雷のときはさわらない

異物はいれない 水は禁物

火災や感電のおそれがあります。水や異物を入れないように注意してください。万一水や異物が入った場合は、電源ケーブル・プラグを抜き、弊社サポートセンターまたは販売店にご連絡ください。



異物厳禁

通風口はふさがない

内部に熱がこもり、火災の原因となります。



ふさがない

湿気やほこりの多いところ、油煙や湯気のあたる場所には置かない

内部回路のショートの原因になり、火災や感電のおそれがあります。



設置場所注意

取り付け・取り外しのときはコネクター・回路部分にさわらない

感電の原因となります。

稼働中に周辺機器の取り付け・取り外し（ホットスワップ）に対応した機器の場合でも、コネクターの接点部分・回路部分にさわらないように注意して作業してください。



感電注意

表示以外の電圧では使用しない

火災や感電の原因となります。

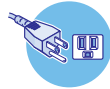
製品の取扱説明書に記載の電圧で正しくお使いください。なお、AC 電源製品に付属の電源ケーブルは 100V 用ですご注意ください。



電圧注意

正しい配線器具を使用する

本製品に付属または取扱説明書に記載のない電源ケーブルや電源アダプター、電源コンセントの使用は火災や感電の原因となります。



正しい器具

コンセントや配線器具の定格を超える使い方はしない

たこ足配線などで定格を超えると発熱による火災の原因となります。



たこ足禁止

設置・移動のときは電源ケーブル・プラグを抜く

感電の原因となります。



ケーブルを
抜く

ケーブル類を傷つけない

特に電源ケーブルは火災や感電の原因となります。

ケーブル類やプラグの取扱上の注意

- ・加工しない、傷つけない。
- ・重いものを載せない。
- ・熱器具に近づけない、加熱しない。
- ・ケーブル類をコンセントなどから抜くときは、必ずプラグを持って抜く。



傷つけない

光源をのぞきこまない

目に傷害を被る場合があります。

光ファイバーインターフェースを持つ製品をお使いの場合は、光ファイバーケーブルのコネクター、ケーブルの断面、製品本体のコネクターなどをのぞきこまないでください。



のぞかない

適切な部品で正しく設置する

取扱説明書に従い、適切な設置部品を用いて正しく設置してください。指定以外の設置部品の使用や不適切な設置は、火災や感電の原因となります。



正しく設置

ご使用にあたってのお願い

次のような場所での使用や保管はしないでください

- ・直射日光のあたる場所
- ・暖房器具の近くなどの高温になる場所
- ・急激な温度変化のある場所（結露するような場所）
- ・湿気の多い場所や、水などの液体がかかる場所（仕様に定められた環境条件下でご使用ください）
- ・振動の激しい場所
- ・ほこりの多い場所や、シュータンを敷いた場所（静電気障害の原因になります）
- ・腐食性ガスの発生する場所

静電気注意

本製品は、静電気に敏感な部品を使用しています。部品が静電破壊されるおそれがありますので、コネクターの接点部分、ポート、部品などに素手で触れないでください。

取り扱いにはいねいに

落としたり、ぶつけたり、強いショックを与えたりしないでください。



お手入れについて

清掃するときは電源を切った状態で

誤動作の原因になります。

機器は、乾いた柔らかい布で拭く

汚れがひどい場合は、柔らかい布に薄めた台所用洗剤（中性）をしみこませ、固く絞ったもので拭き、乾いた柔らかい布で仕上げてください。

お手入れには次のものは使わないでください

石油・シンナー・ベンジン・ワックス・熱湯・粉せっけん・みがき粉
（化学ぞうきんをご使用のときは、その注意書きに従ってください）

はじめに

このたびは、AT-TQ7613をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

AT-TQ7613は、最新規格であるIEEE 802.11be (Wi-Fi 7) に対応し、6GHz帯が利用可能な3ラジオ搭載無線アクセスポイント (AP) です。アンテナには4×4ストリームを採用し、6GHz帯で最大11Gbpsの高速通信に対応します。2.4GHz帯、5GHz帯、6GHz帯の同時使用が可能です。

3ラジオを活用し、アライドテレシス独自の技術であるAWCを組み合わせることで環境に合わせた柔軟な無線LAN環境の構築が可能です。

電波に関する注意

本製品を使用する場合は、下記の点にご注意ください。

また設置の前に、4ページの「安全のために」を必ずお読みください。

- ・ 心臓ペースメーカーに電磁妨害を及ぼす可能性があります。本製品を使用する前に、電磁妨害が発生しないことを十分に確認したうえで、ご使用ください。
- ・ 医療機器に電磁妨害を及ぼす可能性があります。本製品を使用する前に、電磁妨害が発生しないことを十分に確認したうえで、ご使用ください。
- ・ 電子レンジの近くで、本製品をご使用にならないでください。電子レンジによって、本製品の無線通信への電磁妨害が発生します。

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか工場の製造ラインで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。

- ・ この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
- ・ 万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに電波の発射を停止したうえ、弊社サポートセンターにご連絡いただき、混信回避のための処置等についてご相談ください。
- ・ その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、弊社サポートセンターにお問い合わせください。

無線 LAN 製品ご使用時におけるセキュリティーに関するご注意

無線LANでは、LANケーブルを使用する代わりに、電波を利用してコンピューターなどと無線LANアクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続が可能であるという利点があります。

その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁等）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティーに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

通信内容を盗み見られる

悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、IDやパスワード又はクレジットカード番号等の個人情報 メールの内容 等の通信内容を盗み見られる可能性があります。

不正に侵入される

悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）、特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）、傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）、コンピューターウィルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）などの行為をさせてしまう可能性があります。

本来、無線LANカードや無線LANアクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティーの仕組みを持っていますので、無線LAN製品のセキュリティーに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。

セキュリティーの設定を行わずに使用した場合の問題を充分理解したうえで、お客様自身の判断と責任においてセキュリティーに関する設定を行い、製品を使用することをお勧めします。

最新のファームウェアについて

弊社は、改良（機能拡張、不具合修正など）のために、予告なく本製品のファームウェアのバージョンアップやパッチレベルアップを行うことがあります。また、ご購入時に機器にインストールされているファームウェアは最新でない場合があります。

お使いの前には、ファームウェアのバージョンをご確認いただき、最新のものに切り替えてご利用くださいますようお願いいたします。

最新のファームウェアは、弊社ホームページからご入手いただけます。

なお、最新のファームウェアをご利用の際は、必ず弊社ホームページに掲載のリリースノートの内容をご確認ください。

<http://www.allied-tesis.co.jp/>

はじめに

マニュアルの構成

本製品のマニュアルは、次の3部で構成されています。

各マニュアルは弊社ホームページに掲載しておりますので、よくお読みのうえ、本製品を正しくご使用ください。

<http://www.allied-tesis.co.jp/>

- ユーザーマニュアル(本書)
本製品の特長や各部の説明、設置と接続が記載されています。
- リファレンスマニュアル
本製品の各設定画面へのアクセス方法や設定の詳細、具体的な設定例が記載されています。
- リリースノート
ファームウェアリリースで追加された機能・変更点・注意点、マニュアルの内容を補足する最新の情報が記載されています。

表記について

アイコン

このマニュアルで使用しているアイコンには、次のような意味があります。

アイコン	意味	説明
 ヒント	ヒント	知っていると便利な情報、操作の手助けになる情報を示しています。
 注意	注意	物的損害や使用者が傷害を負うことが想定される内容を示しています。
 警告	警告	使用者が死亡または重傷を負うことが想定される内容を示しています。
 参照	参照	関連する情報が書かれているところを示しています。

製品名の表記

本書は、以下の製品を対象に記述されています。

- AT-TQ7613
「本製品」と表記している場合はAT-TQ7613を意味します。

目次

安全のために	4
はじめに	6
電波に関する注意	6
無線LAN製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意	7
最新のファームウェアについて	7
マニュアルの構成	8
表記について	8
目次	9
1 お使いになる前に	11
1.1 梱包内容	12
1.2 概要	13
特長	13
オプション (別売)	13
1.3 相互接続について	14
1.4 各部の名称と働き	15
前面 (LED)	15
上面	16
側面	18
背面・底面	18
ブラケット	19
無線設備の種別	20
2 設置と接続	21
2.1 設置方法を確認する	22
設置するときの注意	22
2.2 設置	23
平らなところへの水平方向の設置	23
天井・壁面への設置	23
ブラケットコンバーターによる設置	25
2.3 スイッチと電源の接続	26
ケーブル	26
PoE 対応スイッチの接続	27
PoE 非対応スイッチと AC アダプターの接続	29
2.4 盗難の防止	30

目次

3 付 録	31
3.1 困ったときに.....	32
LED表示を確認する.....	32
トラブル例.....	32
3.2 仕 様.....	36
コネクタ・ケーブル仕様	36
製品本体の仕様.....	38
無線部の仕様.....	39
アンテナの指向特性	40
有線部の仕様.....	42
3.3 保証とユーザーサポート	43
保証と修理.....	43
ユーザーサポート.....	43
サポートに必要な情報	43

1

お使いになる前に

この章では、本製品の梱包内容、特長、各部の名称と働きについて説明します。

1.1 梱包内容

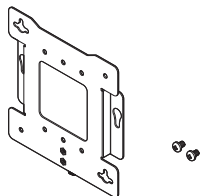
最初に梱包箱の中身を確認してください。

本製品を移送する場合は、ご購入時と同じ梱包箱で再梱包されることが望めます。再梱包のために、本製品がおさめられていた梱包箱、緩衝材などは捨てずに保管してください。



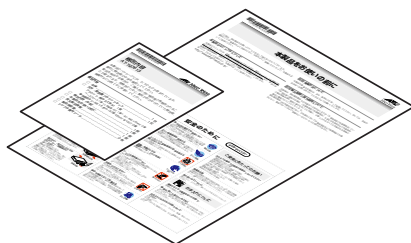
AT-TQ7613

□ 本体 1台



□ 天井・壁設置ブラケットキット 1式

- ・ ブラケット（組み立て済み） 1個
- ・ ベースプレート1個+L字金具（小）1個+ネジ（M3×6mm）2個
- ・ 専用固定ネジ（M5×6.5mm（ネジ部 4.5mm）なベネジ） 2個



□ 本製品をお使いの前に 1部
□ 梱包内容 1部



□ 英文製品情報※ 1部
□ 製品保証書 1部
□ シリアル番号シール 2枚

※ 日本語版マニュアルのみに従って、正しくご使用ください。

1.2 概要

本製品のハードウェア的な特長とオプション(別売)製品を紹介します。

特長

- IEEE 802.11beに準拠、無線上で通信速度最大11529.4Mbps(理論値)が可能
- IEEE 802.11axに準拠、無線上で通信速度最大4803.9Mbps(理論値)が可能
- IEEE 802.11acに準拠、無線上で通信速度最大1733.3Mbps(理論値)が可能
- IEEE 802.11nに準拠、無線上で通信速度最大600Mbps(理論値)が可能
- IEEE 802.11a・IEEE 802.11gに準拠、無線上で通信速度54Mbps(理論値)が可能
- IEEE 802.11bに準拠、無線上で通信速度11Mbps(理論値)の通信が可能
- 4×4ストリームMIMOに対応
- 6GHzアンテナ4本、2.4GHz/5GHzアンテナ4本を内蔵
- 5GHz帯(IEEE 802.11a/n/ac/ax)のW56(チャンネル数12)に対応
- 2.4GHz帯、5GHz帯(W52/W53/W56)、6GHz帯の同時使用が可能
- IEEE 802.3bt準拠のPoE(Power over Ethernet)受電機能に対応
- 100/1000/2.5G/5G/10GBASE-TのPoE++ポートを装備
- エコLED機能(管理画面にて本製品前面のLEDの消灯・点灯設定が可能)

オプション(別売)

- ACアダプター AT-PWRADP-01
- PoE++インジェクター AT-7101GHTm^{*1}
※1 100/1000/2.5G/5GBASE-Tのみ対応
- ブラケットコンバーター AT-BRKT-CONV-AP1

1.3 相互接続について

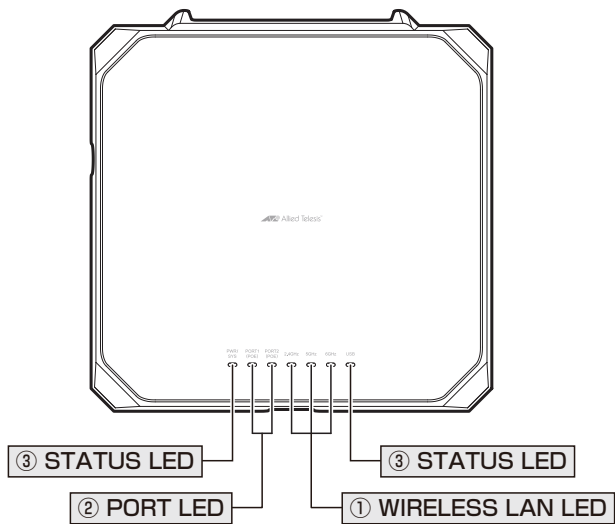
弊社ホームページの「製品／動作検証」にて、相互接続確認を行っている機種のご紹介をしています。

弊社ホームページ <http://www.allied-tesis.co.jp/>

なお、こちらに記載のない製品に関する相互接続のサポートはしておりませんので、あらかじめご了承ください。

1.4 各部の名称と働き

前面（LED）



管理画面により、前面の7つのLEDすべてを消灯することができます。

ヒント

① WIRELESS LAN LED

無線電波の送受信の状態を表示するLEDです。

LED	色	状態	表示内容
2.4GHz	緑	点灯	2.4GHz帯の無線インターフェースが有効です。
		消灯	2.4GHz帯の無線インターフェースが無効です。
5GHz	緑	点灯	5GHz帯の無線インターフェースが有効です。
		消灯	5GHz帯の無線インターフェースが無効です。
6GHz	緑	点灯	6GHz帯の無線インターフェースが有効です。
		消灯	6GHz帯の無線インターフェースが無効です。

② PORT LED

有線LANの通信状況を表示するLEDです。

LED	色	状態	表示内容
PORT1 (POE) PORT2 (POE)	緑	点灯	PoE で受電しています。
			リンクが確立しています。
		点滅	パケットを送受信しています。
		消灯	リンクが確立していません。

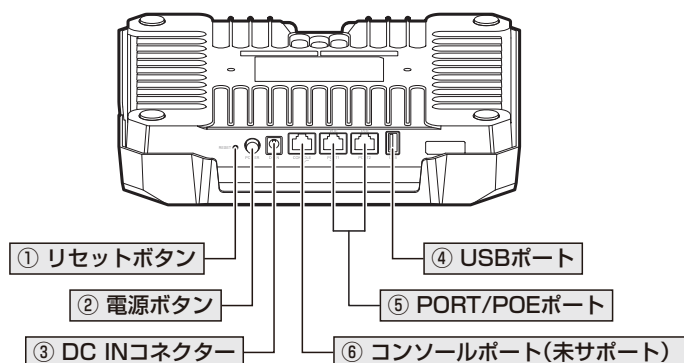
1.4 各部の名称と働き

③ STATUS LED

本製品の動作状態を表示するLEDです。

LED	色	状態	表示内容
PWR/SYS	緑	点灯	電源が供給されています。
		消灯	電源が供給されていません。
	赤	点灯	起動中の状態です。起動後に消灯します。
		点滅	ファームウェアを更新しています。
		消灯	正常に動作しています。
USB	緑	点灯	USBポートが有効で、USBメモリーが認識されています。
		点滅	USBポートが有効で、USBメモリーに対してログの書き込み/読み出し、USBメモリーからの設定ファイルの復元、ファームウェアの更新が行われています。
		消灯	USBポートが有効で、USBメモリーが認識されていません。 USBポートが無効です。

上面



① リセットボタン

5秒より長く押し続けたあとに離すと、再起動を開始しデフォルト設定に初期化された状態に戻ります。先の細い棒などで押してください。



鋭利なもの（縫い針など）や通電性のあるもので、リセットボタンを押さないでください。



ヒント

リセットボタンを使用できないようにするには、「設定」/「システム」/「Hardware」の「リセットボタン有効化」を「無効」に設定してください。ただし、「無効」に設定した場合、ユーザー名やパスワードを忘れると、管理画面にログインできなくなりますので、ご注意ください。

② 電源ボタン

オプション（別売）のACアダプターをお使いの際に使用するボタンです。
電源ボタンを押し、押し込まれた状態になると電源ONになります。

 26ページ「スイッチと電源の接続」

③ DC INコネクター

PoEで電源を使用しない場合にACアダプター（別売）のDCプラグを接続するコネクターです。

 26ページ「スイッチと電源の接続」

④ USBポート

USBメモリーを接続するためのUSB 2.0のポートです。
ファームウェアファイルや設定ファイルの持ち運び、バックアップ、インストールに使用します。ログの出力先としてUSBメモリーを選択することもできます。



USBポートは初期設定で「無効」に設定されています。USBポートを使用するには「設定」/「システム」/「Hardware」で「USBの有効化」を「有効」に設定してください。

また、USBメモリーを取りはずす際は、「無効」にした状態で取りはずしてください。



- ・ ご使用の際には、お客様の使用環境で事前に検証を行ったうえで導入してください。
- ・ USBメモリー、USB延長ケーブル以外のものを接続しないでください。USBハブを介した接続は動作保証をいたしませんのでご注意ください。
- ・ USBメモリーを長期間利用する場合は、USBメモリーの製品保証期間をご確認のうえで使用ください。

⑤ PORT/POEポート

100/1000/2.5G/5G/10GBASE-T、PoE++対応のLANポートです。
PORT1とPORT2の2個のポートがあります。

MDI/MDI-X自動認識機能とオートネゴシエーション機能をサポートしているため、ケーブルの種類（ストレート/クロス）や接続先ポートの種類（MDI/MDI-X）にかかわらず、最適な通信速度（100M/1000M/2.5G/5G/10Gbps）と通信モード（Full/Half Duplex）を自動設定します。

※ 本書では、100BASE-TX/1000BASE-T/2.5GBASE-T/5GBASE-T/10GBASE-Tを100/1000/2.5G/5G/10GBASE-Tと表記します。

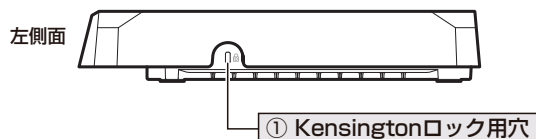
 26ページ「スイッチと電源の接続」

⑥ コンソールポート（未サポート）

弊社メンテナンス用のコンソールポートです（お客様はご使用になれません）。

1.4 各部の名称と働き

側面

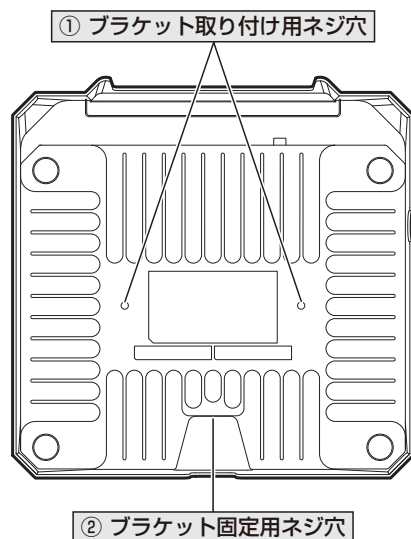


① Kensington ロック用穴

Kensington ロック (セキュリティーケーブル) を取り付ける穴です。

 30 ページ「盗難の防止」

背面・底面



背面

① ブラケット取り付け用ネジ穴

本体をブラケットに取り付けるためのネジ穴です。
取り付けの際は、必ず同梱のネジをお使いください。

 23 ページ「天井・壁面への設置」

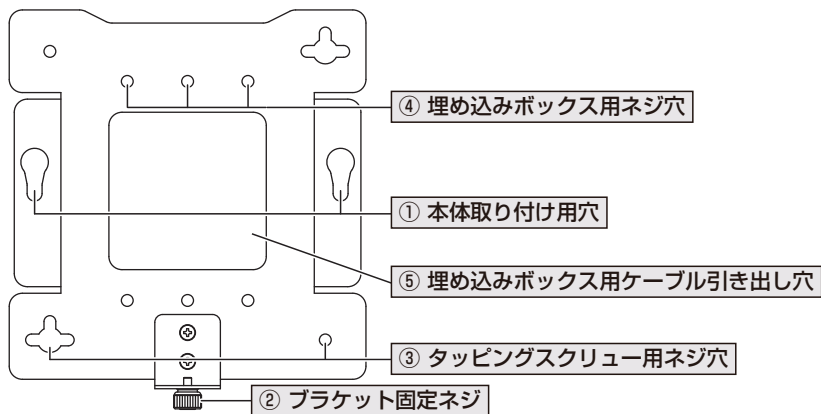
底面

② ブラケット固定用ネジ穴

本体をブラケットに固定するためのネジ穴です。

 参照 23ページ「天井・壁面への設置」

ブラケット



① 本体取り付け用穴

本体をブラケットに取り付けるための穴です。

② ブラケット固定ネジ

本体をブラケットに固定するためのネジです。

③ タッピングスクリュー用ネジ穴

天井・壁面へ設置する際に使用するネジ穴です。

④ 埋め込みボックス用ネジ穴

埋め込みボックスを使用して設置する際に使用するネジ穴です。

⑤ 埋め込みボックス用ケーブル引き出し穴

埋め込みボックスを使用して設置する際にケーブルを引き出すために使用する穴です。

1.4 各部の名称と働き

無線設備の種別

本製品に内蔵されている無線設備には、 記号が表示されています。この表示は、次の内容を意味します。

使用周波数帯域	2.4GHz 帯
変調方式	DSSS 方式 OFDM 方式
想定干渉距離※	40m 以下
周波数変更の可否	全帯域を使用し、かつ「構内局」 あるいは「特小局」帯域を回避可能

※ 想定干渉距離とは、「構内局」または「特小局」との電波干渉が想定される距離です。これは、本製品の通信可能距離とは異なります。

2

設置と接続

この章では、本製品の設置方法と機器の接続について説明しています。

2.1 設置方法を確認する

本製品は次の方法による設置ができます。

- 平らなところへの水平方向の設置
- 壁設置ブラケットによる天井・壁面への設置

また、オプション(別売)を使用することにより、次の方法による設置ができます。

- ブラケットコンバーターによる他社製ブラケットへの設置



・弊社指定品以外の設置金具を使用した設置を行わないでください。また、本書に記載されていない方法による設置を行わないでください。不適切な方法による設置は、火災や故障の原因となります。

・水平方向以外に設置した場合、「取り付け可能な方向」であっても、水平方向に設置した場合に比べほこりがたまりやすくなる可能性があります。定期的に製品の状態を確認し、異常がある場合にはただちに使用をやめ、弊社サポートセンターにご連絡ください。



・本製品の設置は、壁面か天井をお勧めします。
前面(LED面)を使用環境に向けて設置してください。

・製品に関する最新情報は弊社ホームページにて公開しておりますので、設置の際は、付属のマニュアルとあわせてご確認のうえ、適切に設置を行ってください。

・PoE給電機器から受電を行う場合、PoE給電機器側の接地状態により受電を開始しなかったり時間がかかることがあります。PoE給電機器側は確実に接地してご使用ください。また、ブラケットを建物の金属部にネジ留めしている場合も同様の事象が起こることがあります。この場合は、建物の金属部とブラケットを絶縁して設置してください。

設置するときの注意

本製品の設置や保守をはじめる前に、必ず4ページ「安全のために」をよくお読みください。設置については、次の点にご注意ください。

- 電源ケーブルや各メディアのケーブルに無理な力が加わるような設置は避けてください。
- テレビ、ラジオ、無線機などのそばに設置しないでください。
- 十分な換気ができるように、本製品の通気口をふさがないように設置してください。
- 傾いた場所や不安定な場所に設置しないでください。
- 底面を上にして設置しないでください。
- 本製品の上に物を置かないでください。
- 直射日光のあたる場所、多湿な場所、ほこりの多い場所に設置しないでください。
- 本製品は屋外ではご使用になれません。
- コネクターの端子にさわらないでください。静電気を帯びた手(体)でコネクターの端子に触れると静電気の放電により故障の原因になります。

また、無線LANカードを取り付けたコンピューターから見通せる位置に設置してください。



5GHz帯のW52/W53、6GHz帯は電波法令により屋外での使用が禁止されています。

2.2 設置

平らなところへの水平方向の設置

本製品を机の上などの水平な場所に置いて使用することができます。



使用状況や設置環境により、背面が熱くなる場合があります。

警告

設置や移動の際はやけどにご注意ください。



注意

・ 本製品の設置は、壁面か天井をお勧めします。

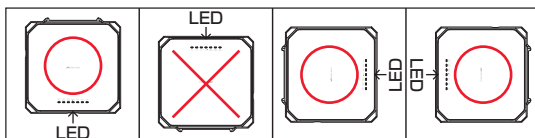
前面 (LED 面) を使用環境に向けて設置してください。

・ 本製品の周囲に物を置かないでください。本製品の放熱が正常にできず故障の原因となります。

天井・壁面への設置

同梱の天井・壁設置ブラケットキットを使用して、本製品を壁面や天井に取り付けます。

壁面に設置する場合は、必ず下図の○の方向に設置してください。



警告

・ 必ず○の方向に設置してください。それ以外の方向に設置すると、正常な放熱ができなくなり、火災や故障の原因となります。

・ 設置面に合わせた適切な設置工事を行ってください。充分な取り付け強度が得られない天井・壁面に設置しないでください。充分な強度が得られない場合、落下などにより重大な事故が発生するおそれがあります。適切なタッピングスクリューを使用してください。不適切なタッピングスクリューを使用した場合、落下などにより重大な事故が発生するおそれがあります。

・ 使用状況や設置環境により、背面が熱くなる場合があります。
設置や移動の際はやけどにご注意ください。



ヒント

AT-TQシリーズに同梱の天井・壁設置用ブラケットは、ベースプレートの寸法は共通で、L字金具の長さのみ製品寸法によって異なる場合があります。寸法の異なる製品交換の際に、L字金具を付け替えることで、既設のベースプレートを天井・壁面から取りはずすことなく利用することができます。

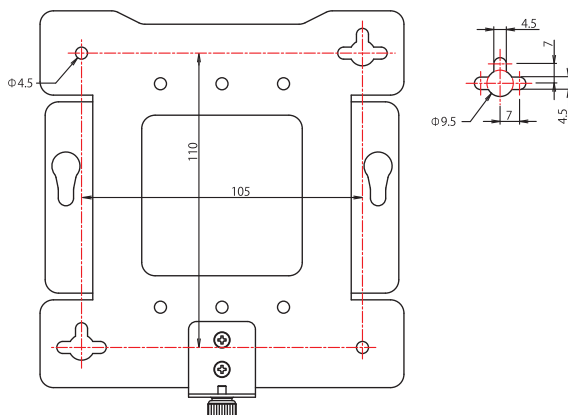
本製品のブラケットは長さが短いタイプのL字金具 (小) を使用しています。付け替えの際には、L字金具を固定しているネジ (M3×6mm) 2個を取りはずしてください。

2.2 設置

- 1 次の点を考慮し、設置する場所を決めます。
 - 無線クライアントや無線通信における障害物の位置
 - UTP/STPケーブル、電源ケーブルの引き回し
 - LED表示の監視
- 2 ブラケットを設置面に取り付けるための適切な長さとし太さを持つタッピングスクリー 4本を用意します。ブラケットの取り付け穴の寸法は次のとおりです。



注意 取り付け用のタッピングスクリーは付属しておりません。お客様にてご用意をお願いします。

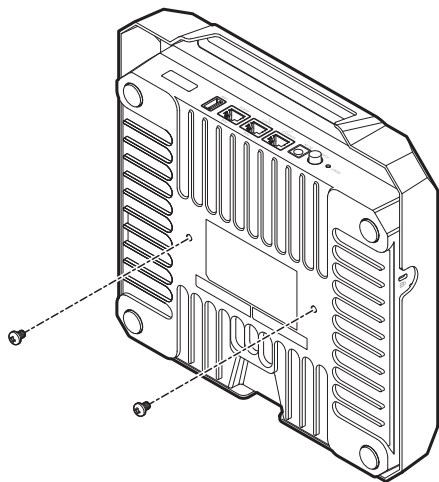


- 3 ブラケットを取り付けるための下穴を設置面に開けます。
- 4 手順3で開けた下穴にブラケットの穴を合わせ、タッピングスクリーでブラケットを設置面に取り付けます。
- 5 あらかじめ埋め込みボックスが埋設されている場合は、埋め込みボックスのネジを使用して固定できます。ブラケットのケーブル引き出し穴の上下にある6つの穴の間隔は、埋め込みボックスのネジの間隔に一致します。水平方向に並んだ3つの穴の真ん中は1連ボックス用、左右の穴は2連ボックス用です。



注意 埋め込みボックスを使用して本製品を固定する場合は、埋め込みボックスが本製品を支えるために十分な強度で固定されていることを確認してください。十分な強度がない場合は、タッピングスクリーも使用しブラケットと設置面を固定するなど、設置面に合わせた適切な工事をしてください。

- 6** 本体のブラケット取り付け用ネジ穴に同梱のネジを締めます。



- 7** 手順6で取り付けしたネジと本体との隙間部分をブラケットの本体取り付け用穴に差し込んで引っかけます。
- 8** ブラケット側にあるブラケット固定ネジを締め、本体を固定します。

ブラケットコンバーターによる設置

オプション（別売）のブラケットコンバーター「AT-BRKT-CONV-AP1」を使用することにより、他社製のブラケットを外すことなく本製品を設置することができます。ブラケットコンバーターの使用方法は、ブラケットコンバーターに付属の取扱説明書を参照してください。

2.3 スイッチと電源の接続

ケーブル

カテゴリー

使用可能なケーブルのカテゴリーは下表のとおりです。

なお、本製品はIEEE 802.3bt対応のクラス6受電機器です。

—	PoE受電をしない場合	PoE受電をする場合
100BASE-TX	UTPカテゴリー 5以上	UTPエンハンスド・カテゴリー 5以上
1000BASE-T	UTPエンハンスド・カテゴリー 5以上 ^{※1}	
2.5GBASE-T		
5GBASE-T		
10GBASE-T	UTP/STPカテゴリー 6/6A ^{※1 ※2}	

※1 PoEインジェクター接続時は、5GBASE-TではUTPカテゴリー 6を、10GBASE-TではUTP/STPカテゴリー 6Aを使用してください。

※2 隣接したケーブルや外部からのノイズの影響を低減するため、STPケーブルの使用をお勧めします。

長さ

本製品とネットワーク機器を接続するケーブルの長さは、UTPカテゴリー 6の場合55m以内、それ以外のケーブルでは100m以内にしてください。



注意

2.5G/5G/10GBASE-Tの最大伝送距離は理論値であり、実際の伝送距離は使用環境によって異なりますので、ご注意ください。

タイプ

本製品はMDI/MDI-X自動認識機能をサポートしていますので、接続先のポートの種類(MDI/MDI-X)にかかわらず、ストレート/クロスのどちらのケーブルタイプでも使用することができます。

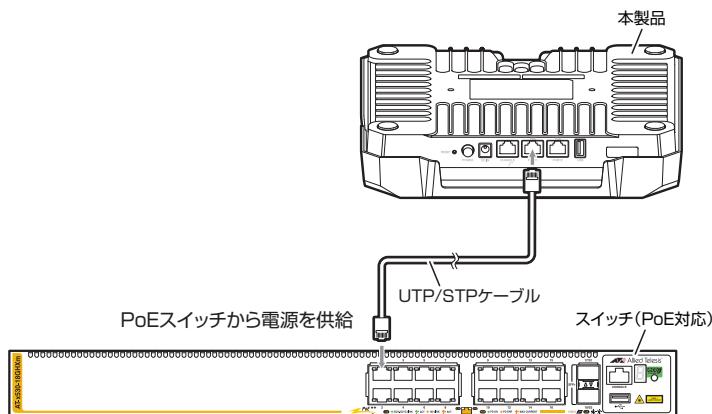


ヒント

ストレートタイプのケーブルの使用をお勧めします。また、PoE受電をする場合は、8線結線のケーブルをご使用ください。

PoE 対応スイッチの接続

PoE 給電対応のネットワーク機器から電源の供給を受けることができます。
本製品はIEEE 802.3bt対応のクラス6受電機器です。



- 1 本製品 PORT/POE ポートに UTP/STP ケーブルを接続します。スイッチの LAN ポートに UTP/STP ケーブルのもう一端を接続します。
- 2 PoE スイッチから電源の供給を受けると、本製品前面の PWR/SYS LED が点灯します。



注意

給電中のポートからケーブルを抜いた直後は電圧がかかっているため、ケーブルを抜き差しするなどして機器を接続しなおす場合は、2、3秒間を空けてください。再接続の間隔が極端に短いと本製品や接続機器の故障の原因となるおそれがあります。



ヒント

- ・ 本製品は、PoE スイッチに接続すると自動的に電源が入ります。電源を切る場合は、UTP/STP ケーブルを本製品 PORT/POE ポートから抜いてください。
- ・ PoE スイッチによっては、本製品に電源を供給するための設定が必要なことがあります。詳しくは、接続する PoE スイッチのマニュアルを参照してください。
- ・ AC アダプターと PoE スイッチの同時接続に対応しています。同時接続時は AC アダプターからの給電が優先されます。

2.3 スイッチと電源の接続



ヒント

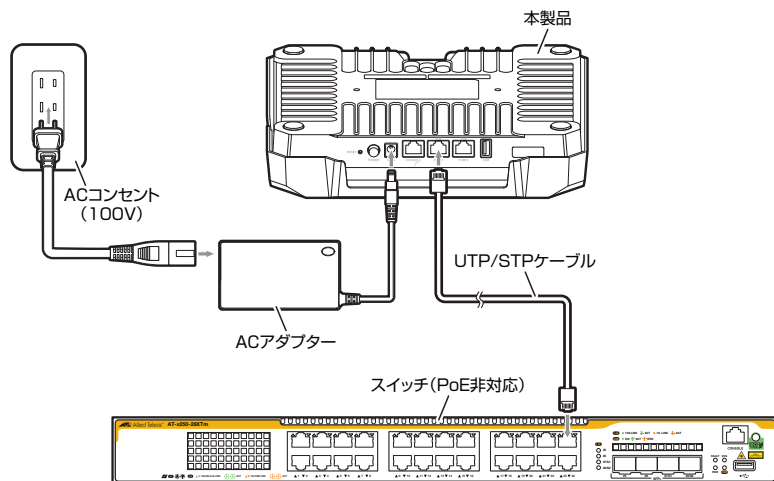
- ・使用する有線ポートと無線帯域の組み合わせによって、本製品をクラス5相当の電力で動作させることができます。詳細は下表をご覧ください。

なお、最大消費電力の値には、PoEスイッチ接続時のケーブル損失は含まれていません。

有線2ポート有効、かつ2ラジオ有効		
使用ポート	使用ラジオ	最大消費電力
PORT 1/2	無線 5GHz/6GHz	34.1W
	無線 2.4GHz/6GHz	32.9W
	無線 2.4GHz/5GHz	30.3W
有線1ポート有効、かつ2または3ラジオ有効		
使用ポート	使用ラジオ	最大消費電力
PORT 1	無線 2.4GHz/5GHz/6GHz	34.1W
	無線 5GHz/6GHz	28.9W
	無線 2.4GHz/6GHz	28.9W
	無線 2.4GHz/5GHz	26.7W

PoE 非対応スイッチと AC アダプターの接続

オプション(別売)のACアダプター (AT-PWRADP-01)を使用します。



- 1 本製品 PORT/POE ポートに UTP/STP ケーブルを接続します。スイッチの LAN ポートに UTP/STP ケーブルのもう一端を接続します。
- 2 AC アダプターに付属の電源ケーブルを AC アダプターの本体に接続します。
- 3 AC アダプターの DC プラグを、本製品上面の DC-IN コネクタに差し込みます。
- 4 電源ケーブルの AC プラグを電源コンセントに接続します。
- 5 本製品の電源ボタンを押し、押し込まれた状態になると電源がオンになり、本製品前面の PWR/SYS LED が点灯します。

電源を切る場合は、本製品の電源ボタンを押し、電源ボタンが飛び出た状態にします。



- ・ 必ず、専用の AC アダプター使用し、AC100V のコンセントに接続してください。不適切なアダプターやコンセントを使用すると、発熱による発火や感電のおそれがあります。
- ・ 電源プラグをコンセントに差し込んだまま、DC プラグを抜かないでください。感電事故を引き起こすおそれがあります。



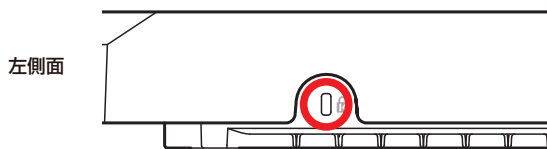
電源をオフにしてから再度オンにする場合は、しばらく間を空けてください。



AC アダプターと PoE スイッチの同時接続に対応しています。同時接続時は AC アダプターからの給電が優先されます。

2.4 盗難の防止

製品の左側面には、Kensingtonロック（セキュリティーケーブル）用の穴があります。この穴を使用して施錠することができます。



注意

セキュリティーケーブルは付属しておりません。お客様にてご用意をお願いいたします。

3

付 録

この章では、トラブル解決、本製品の仕様、製品保証について説明しています。

3.1 困ったときに

本製品の使用中になんらかのトラブルが発生したときの解決方法を紹介します。

LED 表示を確認する

LEDの状態を観察してください。LEDの状態は問題解決に役立ちますので、お問い合わせの前にどのように表示されるかを確認してください。

 15ページ「前面(LED)」

トラブル例

電源を接続してもLEDがまったく点灯しない

「設定」/「システム」/「LED」画面でエコモードが「有効」に設定されていませんか。

 リファレンスマニュアル/「設定」/「システム」/「LED」

電源を接続してもPWR/SYS LEDが点灯しない

ACアダプター使用時：

ACアダプターが正しく接続されていますか

 29ページ「PoE非対応スイッチとACアダプターの接続」

ACアダプターが接続されている電源コンセントには、電源が供給されていますか
別の電源コンセントに接続してください。

本製品の電源ボタンが押し込まれた状態になっていますか

PoE給電対応のネットワーク機器から受電時：

接続先のIEEE 802.3at機器は、正しく設定されていますか

 27ページ「PoE対応スイッチの接続」

ケーブルを接続してもL/A LED(緑または橙)が点灯しない

接続先の機器の電源は入っていますか

正しいUTP/STPケーブルを使用していますか

○ UTP/STPケーブルのカテゴリ

下表を参照して、正しいカテゴリのケーブルを使用してください。PoE受電をする場合は、8線結線のケーブルをご使用ください。

—	PoE受電をしない場合	PoE受電をする場合
100BASE-TX	UTPカテゴリ 5以上	UTPエンハンスド・カテゴリ 5以上
1000BASE-T	UTPエンハンスド・カテゴリ 5以上 ^{※1}	
2.5GBASE-T		
5GBASE-T		
10GBASE-T	UTP/STPカテゴリ 6/6A ^{※1 ※2}	

※1 PoEインジェクター接続時は、5GBASE-TではUTPカテゴリ 6を、10GBASE-TではUTP/STPカテゴリ 6Aを使用してください。

※2 隣接したケーブルや外部からのノイズの影響を低減するため、STPケーブルの使用をお勧めします。

○ UTP/STPケーブルの長さ

100/1000/2.5G/5GBASE-Tの場合は最大100m、10GBASE-Tの場合はUTPカテゴリ 6は最大55m、STPカテゴリ 6、UTP/STPカテゴリ 6Aは最大100mと規定されています。

なお、2.5G/5G/10GBASE-Tの最大伝送距離は理論値であり、実際の伝送距離は使用環境によって異なりますので、ご注意ください。

○ UTP/STPケーブルのタイプ

MDI/MDI-X自動認識機能により、接続先のポートの種類(MDI/MDI-X)にかかわらず、ストレート/クロスのどちらのケーブルタイプでも使用することができますが、不要なトラブルを避けるためストレートタイプを使用することをお勧めします。

USBメモリーを接続してもUSB LEDが点灯しない

USBポートは有効になっていますか

USBポートは初期設定で「無効」に設定されています。

「設定」/「システム」/「Hardware」で「USBの有効化」を「有効」に設定してください。

 リファレンスマニュアル/「設定」/「システム」/「Hardware」

3.1 困ったときに

WIRELESS LAN LEDが点灯しない

無線1 (2.4GHz帯)、無線2 (5GHz帯)、無線3 (6GHz帯) の送受信 (ステータス) が有効になっていますか

ご購入時には無線電波の送受信 (ステータス) が、無線1 (2.4GHz帯)、無線2 (5GHz帯)、無線3 (6GHz帯) すべて「無効」に設定されています。

「設定」/「無線LAN」画面の無線1、無線2、無線3の各タブのステータスを「有効」に設定してください。

 リファレンスマニュアル/「設定」/「無線LAN」

無線LAN通信ができない

無線LANカードに障害はありませんか

無線クライアント (コンピューター) に無線LANカードのドライバーが正しくインストールされているか確認してください。

無線LANカードを取り付けたコンピューターは正しく設定されていますか

通信モード

コンピューターの「通信モード」は、「Infrastructure」に設定してください。

SSID

コンピューターの「SSID」は、本製品と同じ文字列を設定してください。

暗号化

コンピューターの暗号化の設定 (セキュリティ) は、本製品の暗号化と同じ設定にしてください。

電波状態は適切ですか

無線LANカードを取り付けたコンピューターとの距離を短くしたり、障害物をなくして見通しをよくしてから、再度通信してください。

他のアクセスポイントでSSIDとチャンネル設定が同一ではありませんか

「監視」/「近隣AP」画面で周辺のアクセスポイントの設定を確認し、本製品または設定が重複するアクセスポイントの設定を変更してください。

 リファレンスマニュアル/「監視」/「近隣AP」

AWCの設定は正しいですか

AWCを使用している場合は、お使いの無線LANコントローラーのリファレンスマニュアル、またはコマンドリファレンスをご覧になり設定状態の確認を行ってください。

無線LAN通信の状態が悪い

無線LANカードのドライバーバージョンは最新ですか

ご使用の無線LANカードのマニュアルをご覧になり、無線クライアント(コンピューター)の無線LANカードのドライバーを最新のものに更新してみてください。

無線LANカードのローミングの積極性が最大になっていませんか

ローミングの積極性(Aggressiveness)を最大に設定すると、無線クライアントは常時リンク品質を監視し、もしなんらかの悪化が発生すると、よりよいと思われるアクセスポイントの発見とローミングを試みます。これにより過度のローミングが発生し、通信が不安定になることがあります。

ご使用の無線LANカードのマニュアルをご覧になり適切な設定にしてください。

無線LANカードの省電力機能が有効になっていませんか

ご使用の無線LANカードのマニュアルをご覧になり適切な設定にしてください。

本製品にアクセスできない

パスワードを忘れてしまいましたか

本製品のアクセスを制限するために、パスワードを設定することができます。このパスワードを忘れてしまうと、本製品にアクセスすることができません。万が一、パスワードを忘れてしまった場合には、本製品上面のリセットボタンを5秒より長く押し続けたあとに離し、現在、導入されているファームウェアの設定を初期化してください。

この場合、本製品の設定をやり直していただく必要がありますのでご了承ください。

 16ページ「上面」

「設定」/「システム」/「Hardware」画面で「リセットボタン有効化」を「無効」に設定している場合、リセットボタンで初期化することはできません。

 リファレンスマニュアル/「設定」/「システム」/「Hardware」

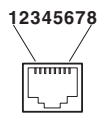
3.2 仕様

ここでは、コネクターのピンアサインやケーブルの結線、電源部や環境条件など本製品の仕様について説明します。

コネクター・ケーブル仕様

100/1000/2.5G/5G/10GBASE-T インターフェース

RJ-45型のモジュージャックを使用しています。

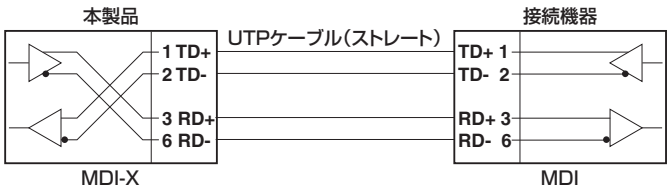


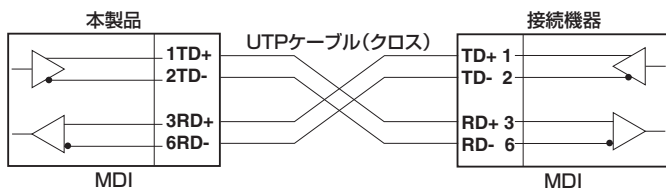
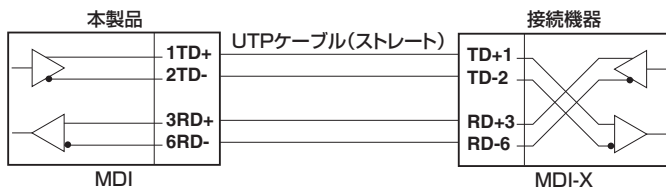
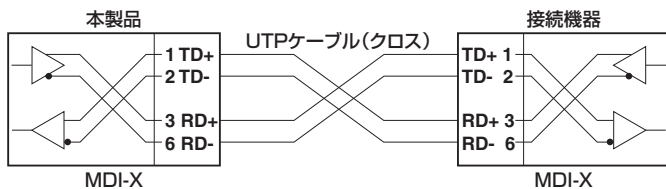
コンタクト	100BASE-TX		1000/2.5G/5G/10GBASE-T	
	MDI信号	MDI-X信号	MDI	MDI-X
1	TD + (送信)	RD + (受信)	BI_DA +	BI_DB +
2	TD - (送信)	RD - (受信)	BI_DA -	BI_DB -
3	RD + (受信)	TD + (送信)	BI_DB +	BI_DA +
4	未使用	未使用	BI_DC +	BI_DD +
5	未使用	未使用	BI_DC -	BI_DD -
6	RD - (受信)	TD - (送信)	BI_DB -	BI_DA -
7	未使用	未使用	BI_DD +	BI_DC +
8	未使用	未使用	BI_DD -	BI_DC -
コンタクト	PoE			
	モードA		モードB	
1	+ V	- V	未使用	未使用
2	+ V	- V	未使用	未使用
3	- V	+ V	未使用	未使用
4	未使用	未使用	+ V	- V
5	未使用	未使用	+ V	- V
6	- V	+ V	未使用	未使用
7	未使用	未使用	- V	+ V
8	未使用	未使用	- V	+ V

100/1000/2.5G/5G/10GBASE-T ケーブル結線

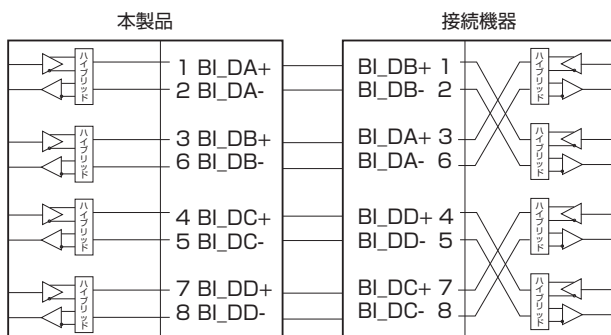
ケーブルの結線は下図のとおりです。

○ 100BASE-TX





○ 1000/2.5G/5G/10GBASE-T



USB インターフェース

USB 2.0のタイプA(メス)コネクタを使用しています。

3.2 仕様

製品本体の仕様

適合規格 ^{※1}	
安全規格	UL62368-1, CSA C22.2 No.62368-1 UL2043
EMI規格	VCCIクラスB
EU RoHS 指令	
電波法に基づく技術基準	217-252343
電気通信事業法に基づく技術基準	P250056217
相互接続認定	Wi-Fi (WPA パーソナル (WPA-PSK)、WPA エンタープライズ (WPA-EAP)、 WPA2 パーソナル (WPA2-PSK)、WPA2 エンタープライズ (WPA2-EAP)、 WPA3 パーソナル、WPA3 エンタープライズ、WMM、Passpoint)
電源部 (AC アダプター使用時 ^{※2})	
定格入力電圧	AC100-240V
入力電圧範囲	AC90-264V
定格周波数	50/60Hz
定格入力電流	0.9A
最大入力電流 (実測値)	0.81A
平均消費電力	32W (最大 42W)
平均発熱量	110kJ/h (最大 150kJ/h)
電源部 (PoE 受電時)	
	IEEE 802.3bt 準拠 (クラス6)
環境条件	
保管時温度	-25～70℃
保管時湿度	5～95% (ただし、結露なきこと)
動作時温度	0～50℃ ^{※3}
動作時湿度	5～90% (ただし、結露なきこと)
外形寸法 (突起部含まず)	
	265 (W) × 265 (D) × 47 (H) mm
質量 (ブラケット含まず)	
	1.7kg

※1 当該製品においては「中国版RoHS指令 (China RoHS)」で求められる Environment Friendly Use Period (EFUP) ラベル等を記載している場合がありますが、日本国内での使用および日本から中国を含む海外へ輸出した場合も含め、弊社では未サポートとさせていただきます。証明書等の発行も原則として行いません。

※2 ACアダプターは別売です。

※3 動作時温度が40℃より高くなると、熱緩和機能により通信レートが下がる場合があります。

無線部の仕様

準拠規格	
国際規格	IEEE 802.11a, IEEE 802.11b, IEEE 802.11g, IEEE 802.11n, IEEE 802.11ac, IEEE 802.11ax, IEEE 802.11be, IEEE 802.11k Radio Resource Measurement of Wireless LANs, IEEE 802.11r Fast Basic Service Set Transition, IEEE 802.11v Basic Service Set Transition Management Frames
国内規格	ARIB STD-T66, ARIB STD-T71
周波数帯域	
2.4GHz帯	2400 ~ 2483.5MHz
5GHz帯	5150 ~ 5350MHz, 5470 ~ 5730MHz
6GHz帯	5925 ~ 6425MHz
変調方式	
IEEE 802.11b	DSSS, CCK
IEEE 802.11a/g/n/ac/be	OFDM
IEEE 802.11ax	OFDM, OFDMA
情報変調方式	
IEEE 802.11b	DBPSK, DQPSK
IEEE 802.11a/g/n	BPSK, QPSK, 16QAM, 64QAM
IEEE 802.11ac	BPSK, QPSK, 16QAM, 64QAM, 256QAM
IEEE 802.11ax	BPSK, QPSK, 16QAM, 64QAM, 256QAM, 1024QAM
IEEE 802.11be	BPSK, QPSK, 16QAM, 64QAM, 256QAM, 1024QAM, 4096QAM
アクセス制御方式	
	CSMA/CA + Ack with RTS/CTS
データ通信速度 ^{※4}	
IEEE 802.11b	11/5.5/2/1Mbps 自動切替
IEEE 802.11a/g	54/48/36/24/18/12/9/6Mbps 自動切替
IEEE 802.11n (2.4GHz)	最大600Mbps
IEEE 802.11ax (2.4GHz)	最大1147.1Mbps
IEEE 802.11be (2.4GHz)	最大1376.4Mbps
IEEE 802.11n (5GHz)	最大600Mbps
IEEE 802.11ac (5GHz)	最大1733.3Mbps
IEEE 802.11ax (5GHz)	最大4803.9Mbps
IEEE 802.11be (5GHz)	最大5764.8Mbps
IEEE 802.11ax (6GHz)	最大4803.9Mbps
IEEE 802.11be (6GHz)	最大11529.4Mbps
認証方式	
	オープンシステム認証、共有キー認証、Enhanced Open、WPAパーソナル(WPAとWPA2、WPA2とWPA3、WPA2のみ、WPA3のみ)、WPAエンタープライズ(WPAとWPA2、WPA2とWPA3、WPA2のみ、WPA3のみ) ^{※5} 、キャプティブポータル(外部RADIUS、クリックスルー、認証ページのリダイレクト、仮想IPアドレス、RADIUSアカウンティング、ウォールドガーデン)
暗号化	
WEP ^{※6}	64/128ビット
Enhanced Open	CCMP (AES)、GCMP (AES)
WPA/WPA2	CCMP (AES)、TKIP
WPA3	WPA3パーソナル: CCMP (AES)、GCMP (AES) WPA3エンタープライズ: CCMP (AES)、GCMP (AES)
空中線電力	
	10mW/MHz以下

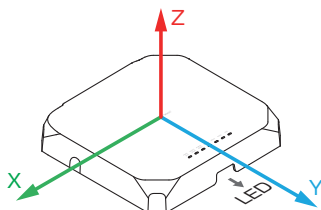
3.2 仕様

アンテナ形式	
	内蔵
アンテナ本数	
	6GHz帯 4本 2.4GHz/5GHz帯 4本
ストリーム数	
	4ストリーム MIMO
チャンネル数	
IEEE 802.11b/g	13チャンネル
IEEE 802.11a	20チャンネル
IEEE 802.11n (2.4GHz)	13チャンネル
IEEE 802.11n (5GHz)	20チャンネル
IEEE 802.11ac	20チャンネル
IEEE 802.11ax/be (2.4GHz)	13チャンネル
IEEE 802.11ax/be (5GHz)	20チャンネル
IEEE 802.11ax/be (6GHz)	24チャンネル
重複しないチャンネル数	
IEEE 802.11b	3チャンネル
IEEE 802.11g	4チャンネル
IEEE 802.11a	20チャンネル
IEEE 802.11n (2.4GHz)	20MHz: 4チャンネル、40MHz: 1チャンネル
IEEE 802.11n (5GHz)	20MHz: 20チャンネル、40MHz: 10チャンネル
IEEE 802.11ac	20MHz: 20チャンネル、40MHz: 10チャンネル、80MHz: 5チャンネル
IEEE 802.11ax/be (2.4GHz)	20MHz: 4チャンネル、40MHz: 1チャンネル
IEEE 802.11ax/be (5GHz)	20MHz: 20チャンネル、40MHz: 10チャンネル、80MHz: 5チャンネル、160MHz: 1チャンネル
IEEE 802.11ax/be (6GHz)	20MHz: 24チャンネル、40MHz: 12チャンネル、80MHz: 6チャンネル、160MHz: 3チャンネル
IEEE 802.11be (6GHz)	20MHz: 24チャンネル、40MHz: 12チャンネル、80MHz: 6チャンネル、160MHz: 3チャンネル、320MHz: 1チャンネル
MAC アドレスフィルタリング数	
	2048個

- ※ 4 表示の数値は、無線LAN規格上の最大値であり、実際のデータ伝送速度を示すものではありません。
- ※ 5 IEEE 802.1X (802.1X/EAP認証: EAP-TLS、EAP-TTLS/MSCHAPv2、PEAPv0/EAP-MSCHAPv2、PEAPv1/EAPGTC、EAP-SIM、EAP-AKA、EAP-FAST) 対応。ダイナミックWEPは未サポート。
- ※ 6 2.4GHzは「IEEE 802.11b/g」、5GHzは「IEEE 802.11a」でサポート。

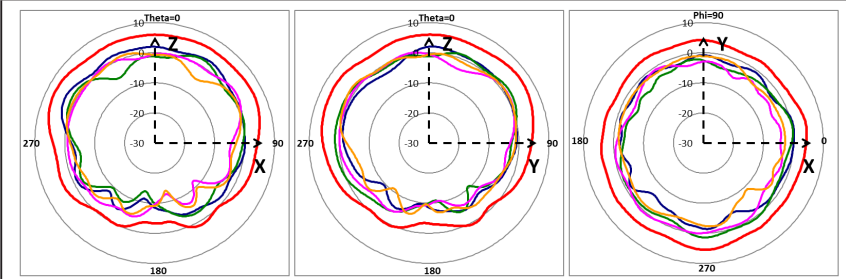
アンテナの指向特性

ここではXY、XZ、YZ平面の指向特性を下図の座標系によって定義しています。



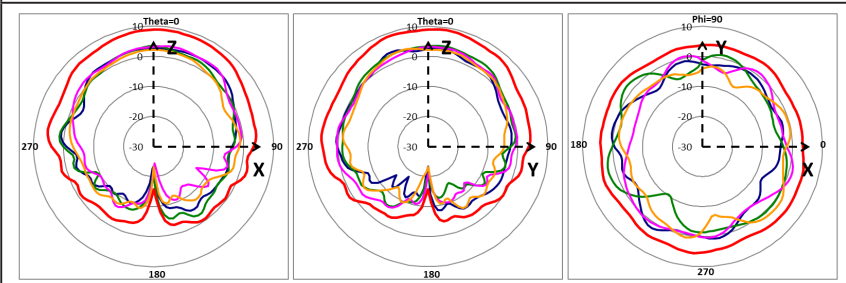
2.4GHz デュアルバンド

— Directional Gain — Dual-1_2G — Dual-2_2G — Dual-3_2G — Dual-4_2G



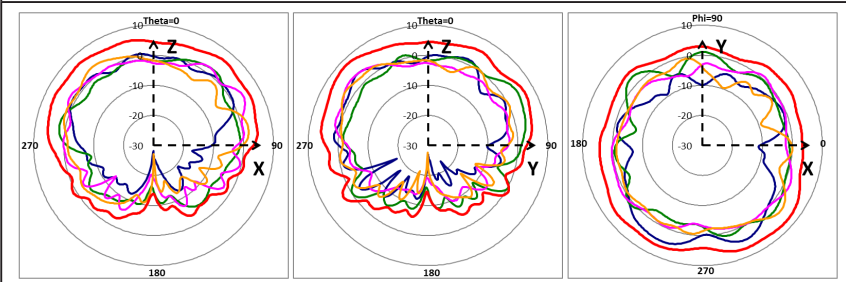
5GHz デュアルバンド

— Directional Gain — Dual-1_5G — Dual-2_5G — Dual-3_5G — Dual-4_5G



6GHz シングルバンド

— Directional Gain — 6G-1 — 6G-2 — 6G-3 — 6G-4



3.2 仕様

有線部の仕様

準拠規格	
	IEEE 802.3u 100BASE-TX IEEE 802.3ab 1000BASE-T IEEE 802.3bz 2.5GBASE-T/5GBASE-T IEEE 802.3an 10GBASE-T IEEE 802.3bt Power over Ethernet++ IEEE 802.3x Flow Control ^{※7} IEEE 802.1Q VLAN Tagging IEEE 802.1AX-2008 Link Aggregation (static and dynamic) ^{※8}
アクセス制御方式	
	CSMA/CD
ポート	
LANポート	100/1000/2.5G/5G/10GBASE-T (PoE-IN、RJ-45 コネクター) × 2 オートネゴシエーション、MDI/MDI-X 自動認識
USBポート	USB2.0、タイプA (メス) × 1

※7 PAUSE フレームの受信のみをサポート

※8 IEEE 802.3ad と同等

3.3 保証とユーザーサポート

保証と修理

本製品の保証内容は、製品に添付されている「製品保証書」の「製品保証規定」に記載されています。製品をご利用になる前にご確認ください。本製品の故障の際は、保証期間の内外にかかわらず、弊社修理受付窓口へご連絡ください。

アライドテレシス株式会社 修理受付窓口

<http://www.allied-telesis.co.jp/support/repair/>

Tel:  0120-860332

携帯電話／PHSからは: 045-476-6218

月～金(祝・祭日を除く) 9:00～12:00 13:00～17:00

保証の制限

本製品の使用または使用不能によって生じたいかなる損害(事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失またはその他の金銭的損害を含み、またこれらに限定されない)につきましても、弊社はその責を一切負わないものとします。

ユーザーサポート

障害回避などのユーザーサポートは、次の「サポートに必要な情報」をご確認のうえ、弊社サポートセンターへご連絡ください。

アライドテレシス株式会社 サポートセンター

<http://www.allied-telesis.co.jp/support/info/>

Tel:  0120-860772

携帯電話／PHSからは: 045-476-6203

月～金(祝・祭日を除く) 9:00～12:00 13:00～17:00

サポートに必要な情報

お客様の環境で発生した様々な障害の原因を突き止め、迅速な障害の解消を行うために、弊社担当者が障害の発生した環境を理解できるよう、以下の点についてお知らせください。なお、都合により連絡が遅れることもございますが、あらかじめご了承ください。

1 一般事項

- ☐ サポートの依頼日
- ☐ お客様の会社、ご担当者

3.3 保証とユーザーサポート

- **ご連絡先**
すでに「サポートID番号」を取得している場合、サポートID番号をお知らせください。
サポートID番号をお知らせいただいた場合には、ご連絡住所などの詳細は省略していただいてもかまいません。
- **ご購入先**

2 使用しているハードウェア・ソフトウェアについて

- シリアル番号 (S/N)、リビジョン (Rev) をお知らせください。
シリアル番号とリビジョンは、本体に貼り付けされている（製品に同梱されている）シリアル番号シールに記載されています。



S/N 以降のひと続きの文字列がシリアル番号、スペース以降のアルファベットで始まる文字列（上記例の「A1」部分）がリビジョンです。

- ファームウェアバージョンをお知らせください。
ファームウェアバージョンは、show system（非特権EXECモード）コマンドで表示されるシステム情報の「Software version」の項で確認できます。
- オプション（別売）製品を使用している場合は、製品名をお知らせください。

3 問い合わせ内容について

- どのような症状が発生するのか、それはどのような状況で発生するのかをできるだけ具体的に（再現できるように）お知らせください。
- エラーメッセージやエラーコードが表示される場合には、表示されるメッセージの内容をお知らせください。
- 可能であれば、設定ファイルをお送りください（パスワードや固有名など差し障りのある情報は、抹消してお送りくださいますようお願いいたします）。

4 ネットワーク構成について

- ネットワークとの接続状況や、使用されているネットワーク機器がわかる簡単な図をお送りください。
- 他社の製品をご使用の場合は、メーカー名、機種名、バージョンなどをお知らせください。

ご注意

本書に関する著作権等の知的財産権は、アライドテレシス株式会社（弊社）の親会社であるアライドテレシスホールディングス株式会社が所有しています。

アライドテレシスホールディングス株式会社の同意を得ることなく、本書の全体または一部をコピーまたは転載しないでください。

弊社は、予告なく本書の全体または一部を修正・改訂することがあります。

また、弊社は改良のため製品の仕様を予告なく変更することがあります。

© 2025 アライドテレシスホールディングス株式会社

商標について

CentreCOMはアライドテレシスホールディングス株式会社の登録商標です。

本書の中に掲載されているソフトウェアまたは周辺機器の名称は、各メーカーの商標または登録商標です。

電波障害自主規制について

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としています。この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

廃棄方法について

本製品を廃棄する場合は、法令・条例などに従って処理してください。詳しくは、各地方自治体へお問い合わせいただきますようお願いいたします。

輸出管理と国外使用について

お客様は、弊社販売製品を日本国外への持ち出しまたは「外国為替及び外国貿易法」にいう非居住者へ提供する場合、「外国為替及び外国貿易法」を含む日本政府および外国政府の輸出関連法規を厳密に遵守することに同意し、必要とされるすべての手続きをお客様の責任と費用で行うことといたします。

弊社販売製品は日本国内仕様であり、日本国外においては製品保証および品質保証の対象外になり、製品サポートおよび修理など一切のサービスが受けられません。

マニュアルバージョン

2025 年 8 月 Rev.A 初版

